

# 金沢エナジーDX戦略 (略称: EGK DX)

2024年3月1日  
金沢エナジー株式会社



当社の経営理念である「エネルギーでつくる地域の未来 ～地域を守り、地域に愛され、地域と成長し続ける～」をベースに、ビジョン「100年続く地域密着の総合エネルギー企業」を目指し、地域の発展に貢献してまいります。

- 昨今の目まぐるしい外部環境の変化に対応しながら、安定供給、低廉な料金、サービス拡充を実現させるなど、経営上の課題は多岐にわたります。
- 当社では、これらの課題に対応するため、最新のデジタル技術活用の方角性等を示すDX戦略を策定しました。
- 最新のデジタル技術の利活用とともに、社内のDX推進体制構築、社員へのIT教育などに取り組み、DX戦略の実現に向けて邁進していきます。

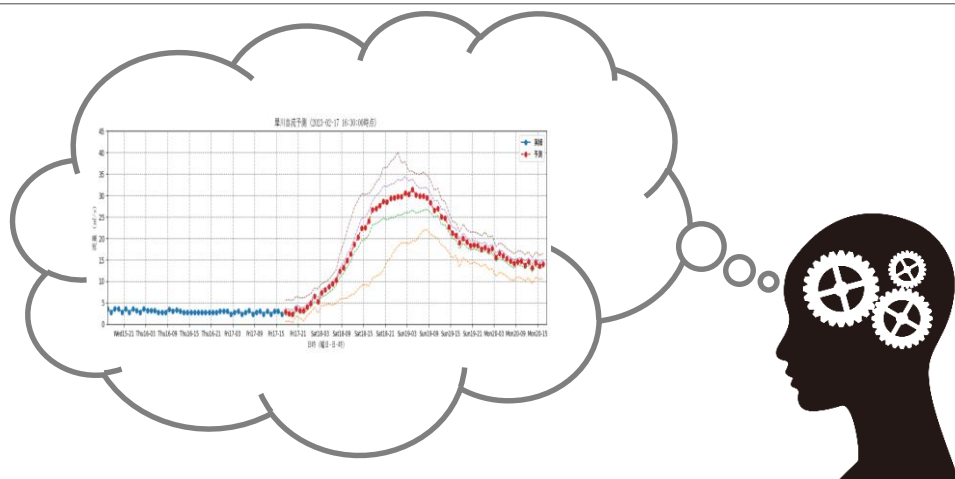


2024年3月1日  
金沢エナジー株式会社 代表取締役社長  
石本 毅

- 当社は2022年4月の事業開始前から継続的に、各種IT技術を用いて安定供給、低廉な料金の維持、魅力あるサービスを実現してきました。

### AIによる発電予測

機械学習を活用して犀川ダム自流を72時間先まで予測するシステムを開発しました。設備を効率的に運用することで、社員にかかる業務負担を軽減することができました。



### 緊急車両位置情報共有

リアルタイムで複数車両の位置を表示させることで、各車両を効率よく迅速に現場に向かわせることができ、安全安心な安定供給を実現しています。



- その他事例：ガス緊急保安通話の自動テキスト変換、電子決裁、グループウェア導入、在宅勤務体制整備、発電所のリアルタイム監視、等

- 緊急保安では、受付情報を入力する修繕システム、ガス設備情報や過去の修理履歴を管理するマッピングシステム、受付指令を行うIP無線及びモバイルマップを活用しています。
- マッピングシステムによって、ガス導管の埋設状況をタブレット端末上でも確認できるようになり、効率的な維持管理が可能になりました。

### 緊急保安対応



### マッピングシステム



- EGK DXを推進し、事業計画に掲げた「2031年度ありたい姿」を実現します。

#### 2031年度ありたい姿

1. 安定した経営基盤のもと安定供給・保安の高度化を実現
2. 高い収益性を実現しつつ低廉な料金と魅力あるサービスを提供
3. 信頼感ある企業として、持続可能な地域社会の発展に貢献

#### 安定供給

① 保安業務高度化

#### 低廉な料金

② 業務効率化

#### 魅力あるサービス

③ お客さまサービスの  
拡充

EGK  
DX

④ システム基盤の見直し

⑤ 人財育成・組織整備

環境整備

経営理念

エネルギーでつくる地域の未来

～地域を守り、地域に愛され、地域と成長し続ける～

- 従来は点検困難であった箇所を、ドローン導入により点検可能にします。
- 遠隔で圧力値を確認可能なガスメーターを使用し、供給圧力の低い管を常時監視します。

## ドローンの導入



橋の上等から目視可能な範囲のみ点検



目視困難な箇所もドローンによる点検

## 遠隔監視ガスメーターの導入



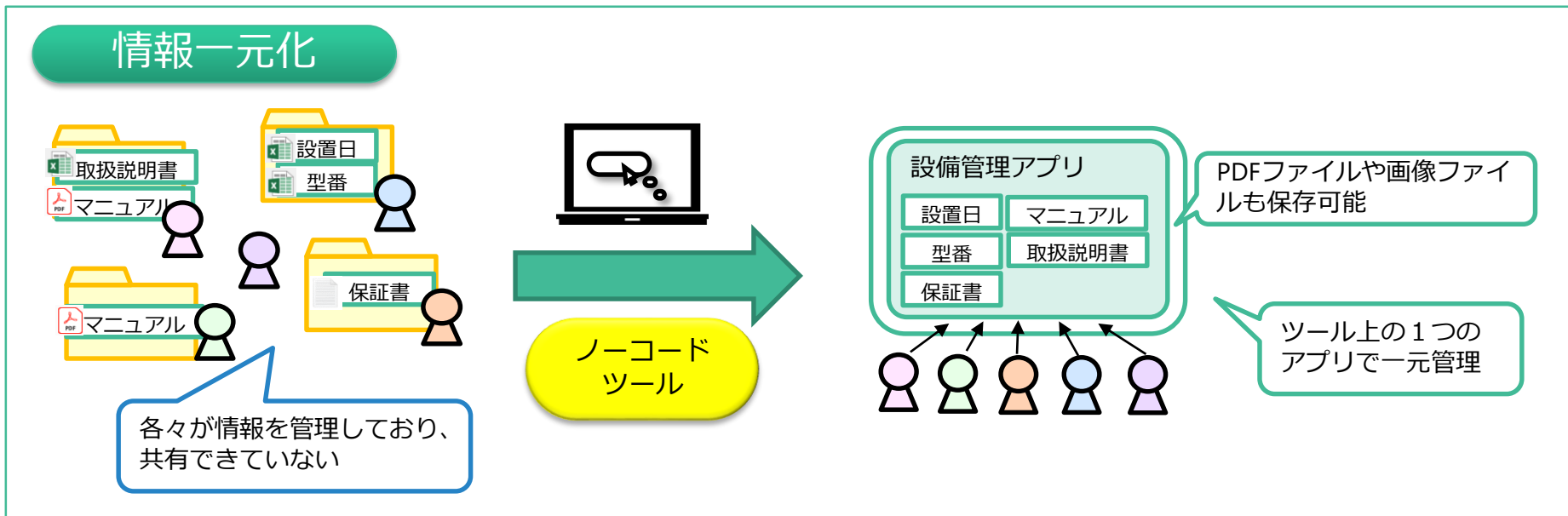
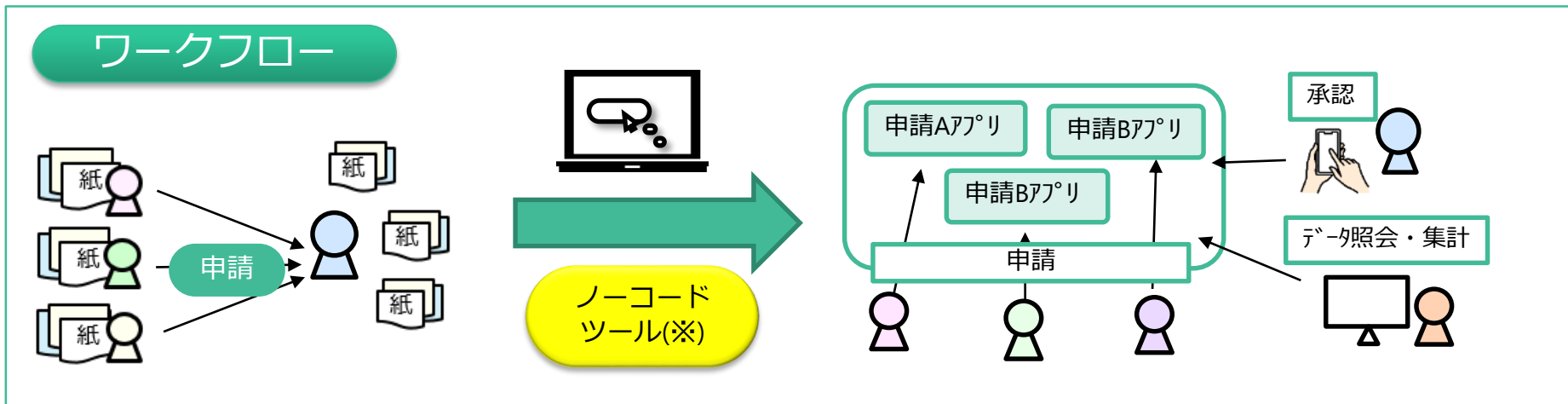
ガス使用量が最も多くなる時間帯に現場へ出向き市中の供給圧力を実測(測定スポットが数十か所存在)



遠隔圧力測定と常時監視で保安レベル向上

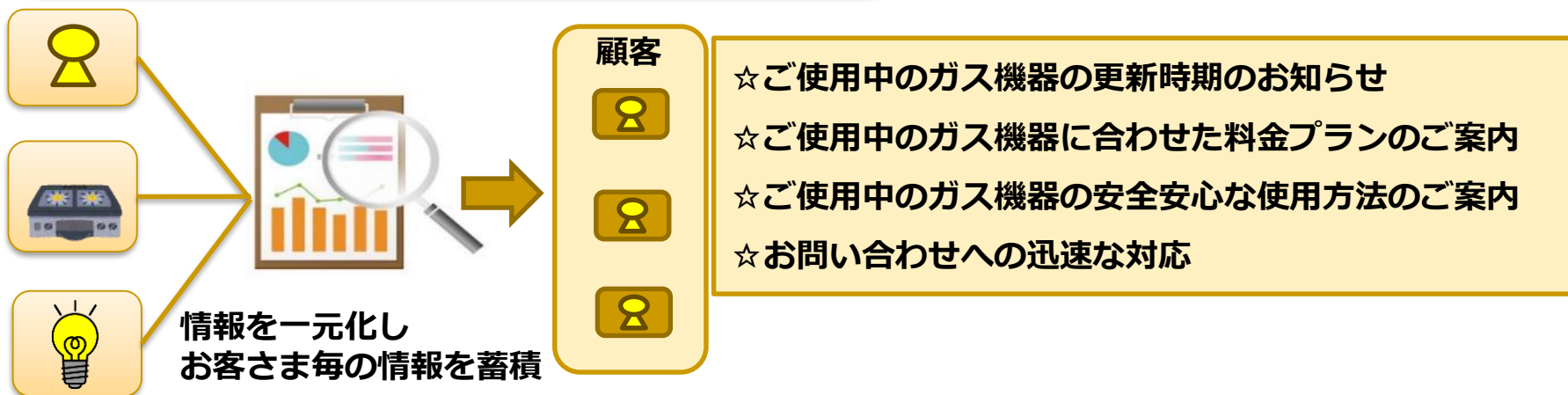


- ITの民主化（利用者自身による業務アプリの作成など）を図り、工数・コストを削減することで低廉な料金を維持します。

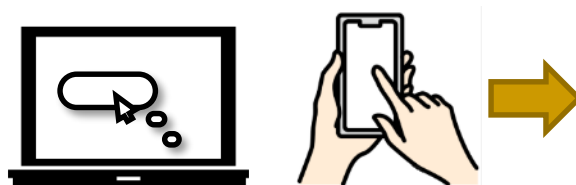


- ❁ お客さま情報管理システムの更新に伴い、当社のサービス（ガス機器、電気など）情報を一元化することで、お客さま毎に、より適切なタイミングでサービスの提案を行います。
- ❁ インターネット上でお客さまご自身でも契約内容や料金を確認できるよう、会員ポータルサイトの開発を行い、お客さまとの接点を強化し、お客さまの利便性の向上を図ります。

### お客さま毎のタイムリーなサービス提案



### お客さまとの接点強化



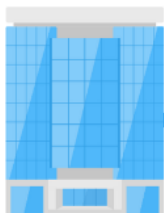
会員ポータルサイトの開発

- ☆最新の契約内容や料金・使用量の閲覧が可能
- ☆過去に遡った料金・使用量の閲覧が可能
- ☆各種申込み・お問い合わせが可能
- ☆タイムリーにイベント情報・キャンペーン情報等のお得な情報や各種ご案内の受け取りが可能



- 社会・経営環境の変化に伴う新たなニーズや課題に、迅速かつ柔軟に対応するため、システム基盤を再構築します。

#### サーバ運用の高度化



金沢エナジー



社外データセンター

自社保有⇒ハウジングサービス利用へ

サーバを自社保有からハウジングサービス(※)活用により切り替えることで、サーバ運用の効率化や災害対策レベルの向上などを図る。

- ☆サーバの監視や保守作業の効率化
- ☆地震などの災害や停電など災害対策レベルの向上
- ☆セキュリティリスクの軽減
- ☆省エネルギー対策(電力消費量を削減)

#### 開発基盤の見直し (ITの民主化)



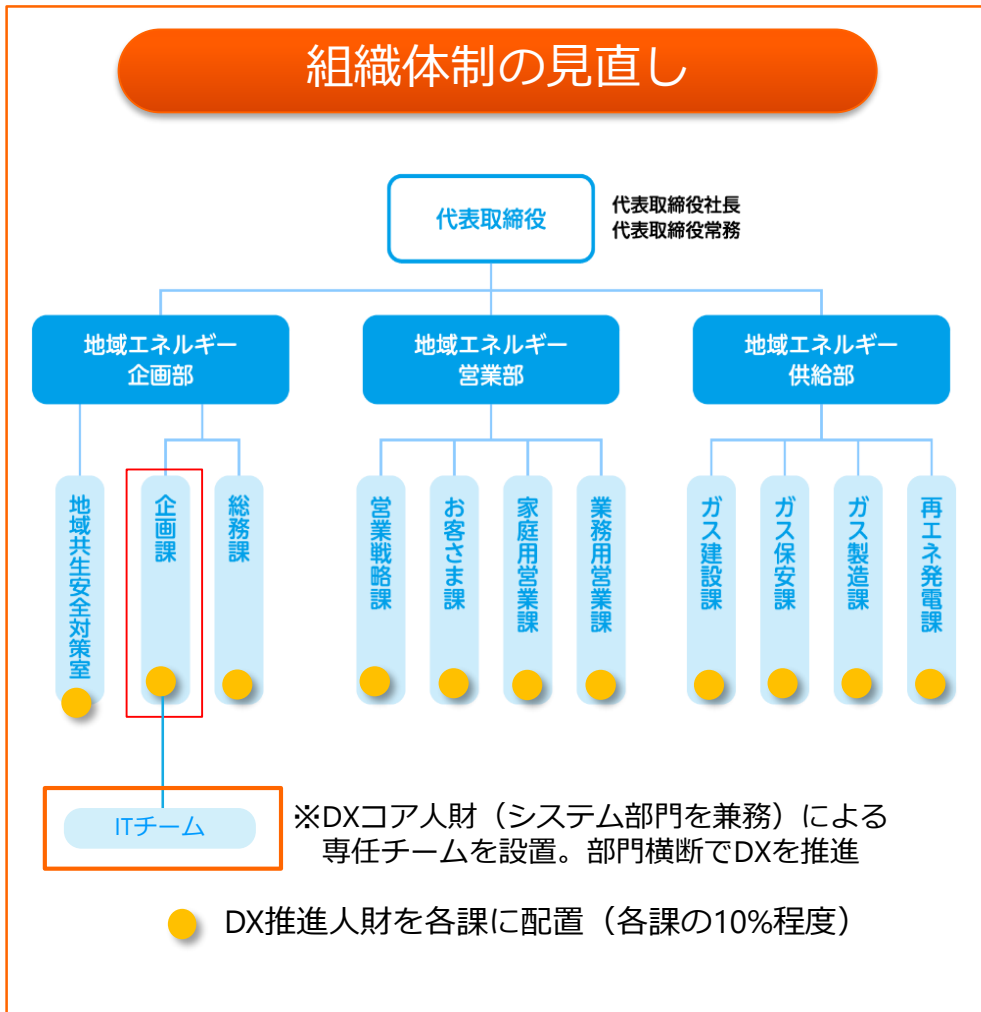
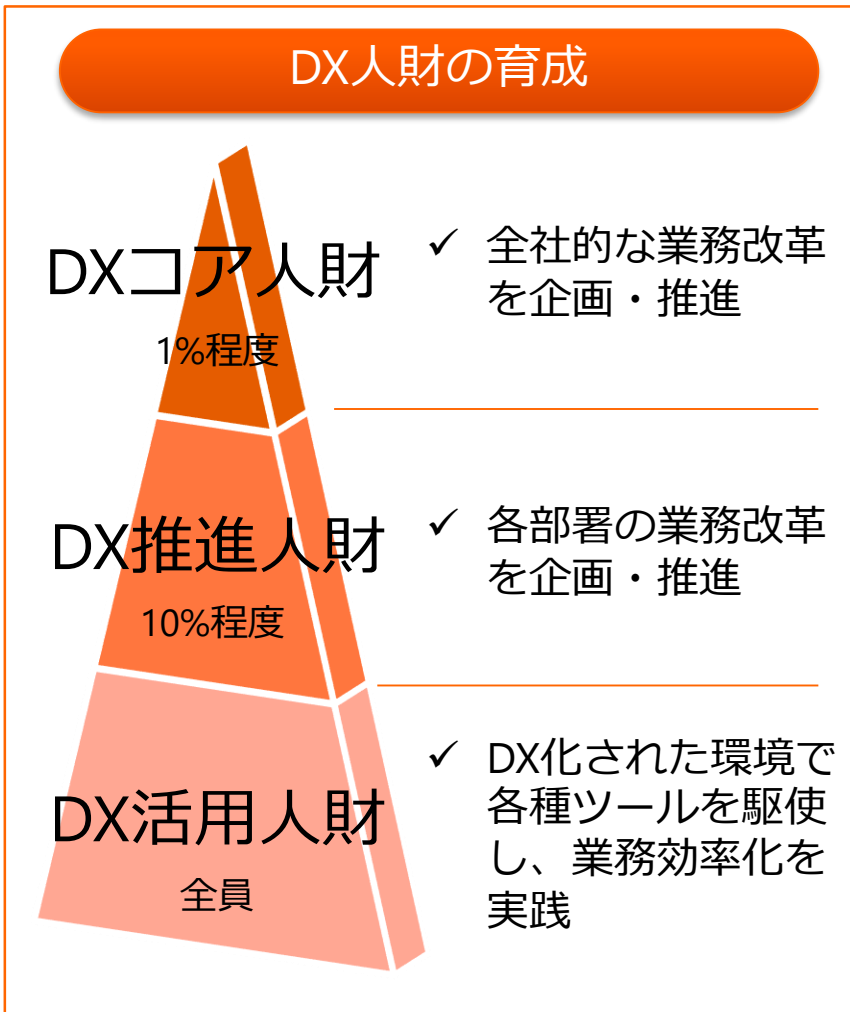
プログラミング⇒ノーコードツールの利用へ

開発基盤をノーコードツールに変えることで、IT技術者以外が簡単にアプリなどを開発でき、業務の高度化・効率化を実現する。

- ☆IT活用の裾野を拡大
- ☆IT活用スピード向上
- ☆開発コストの削減

※ハウジングサービス...ハウジング事業者が保有するデータセンター内でサーバの設置場所を企業に貸し出すサービス

- 社員のITリテラシーを底上げし全社を挙げてDXを推進するため、全社員を「DX人財」へと育成していきます。
- EGK DXを推進するため、組織体制を見直します。



- 各アクションごとに評価指標を設定し、達成度をモニタリングして改善することで、DXを確実に推進します。

方針	アクション	評価指標
安定供給	保安業務高度化	ドローン、遠隔監視ガスメーターの運開
低廉な料金	業務効率化	開発アプリ数
魅力あるサービス	お客さまサービスの拡充	お客さま情報管理システムの更新 ポータルサイト運開
環境整備	システム基盤の見直し	保守作業の工数削減
	DX人財の育成	DX人財数